FUYO LEASE GROUP

2025年4月10日

News Release

芙蓉総合リース株式会社
（コード番号 8424 東証プライム）
代表取締役社長 織田 寛明

豪州ブリスベンで賃貸用集合住宅（BTR）開発プロジェクトへの参画

芙蓉総合リース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 織田寛明、以下「芙蓉リース」）は、豪州クイーンズランド州ブリスベンにて賃貸用集合住宅（BTR※1）の開発プロジェクト（以下「本プロジェクト」）に参画することをお知らせいたします。

本プロジェクトは、豪州やニュージーランドで学生マンションを中心に開発等を行う Cedar Pacific 社（クイーンズランド州ブリスベン）が主導しています。住友林業株式会社（東京都千代田区、社長 光吉敏郎）の 100%子会社である Sumitomo Forestry Australia Pty Ltd.（ビクトリア州メルボルン、社長 小田金泰裕）が日系企業の幹事を務めており、芙蓉リースグループが豪州で初めて参画する不動産開発プロジェクトです。

プロジェクト用地は豪州で 3 番目の経済規模を誇るクイーンズランド州ブリスベンに位置し、雇用集積地である CBD（central business district：ビジネス中心地）まで約 1.5 ㎞のエリアです。2025 年に開通予定の Cross River Rail（新地下鉄ライン）の接続が予定されている Roma Street 駅まで徒歩約 10 分、ブリスベン空港までも車で約 20 分の立地です。

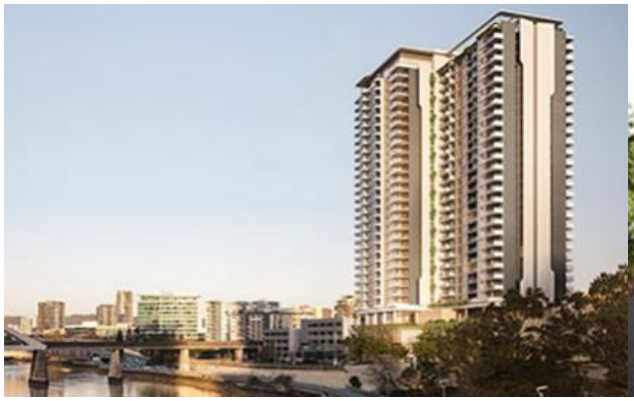
豪州では継続的な人口増加による住宅不足、住宅価格の高騰が社会課題となっており、本プロジェクトでは総戸数 475 戸を住宅市場に供給することによりそれらの課題解決を目指します。供給戸数のうち 250 戸はアフォーダブル住宅※2 として提供し、加えて豪州の環境認証である Green Star 5Star※3、Net Carbon Neutral※4 に基づくオペレーショナルカーボンネットゼロ達成を目指し脱炭素化の実現にも貢献していきます。

芙蓉リースグループは 2022 年度からスタートした中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」において、CSV（Creating Shared Value：共有価値の創造）の実践を通じた社会課題の解決と経済価値の同時実現により、企業グループとして持続的な成長を目指しております。
本プロジェクトへの参画を通じ、豪州における住宅問題の解決に資する取り組みを進めることで、豊かな社会な実現と持続的な成長に貢献してまいります。

【50 Quay Street プロジェクトの概要】

所在地	50 Quay Street, Brisbane, QLD
総開発面積（予定）	57,484 ㎡（うち商業 150 ㎡）
敷地面積／延床面積	3,729 ㎡／29,715 ㎡
住戸数（予定）	475 戸（うち 250 戸がアフォーダブル住宅）
階層・構造	31 階建て（地下 4 階）・RC 造
着工・竣工（予定）	2024 年 4 月着工、2026 年 10 月竣工
アメニティ施設	ルーフトッププール、フィットネスジム、シアタールーム、コワーキングスペース、BBQ スペース等

【完成予想イメージ】





※1　Build to Rent の略。賃貸専用住宅のことを指し、オーストラリアで最も成長が著しいアセットのひとつとして注目されています。

※2　政府からの補助金を受けることで、マーケットと比較して手頃な価格で供給される賃貸住宅。

※3　オーストラリア・グリーンビルディング協議会（GBCA：Green Building Council of Australia）が開発・運営している格付け制度。4star から 6star 評価。

※4　太陽光発電の搭載等による建物環境性能の向上や、再エネ等のグリーン電力契約によりカーボン排出量を極力抑え、不足分についてはカーボンオフセットを利用することで、オペレーション時の排出量（オペレーショナルカーボン）について稼働初日からネットゼロとする取り組み。

以上

お問い合わせ先
芙蓉総合リース株式会社　コーポレートコミュニケーション室　（担当）渡邊
電話番号　03（5275）8891　　URL：https://www.fgl.co.jp/